

テーマ:健康食品をめぐる新たな話題

～日本における CBD の現状とアフターコロナの市場展開～

日本のみならず世界のサプリメント業界が注目している話題の一つは「CBD」であり、もう一つは「アフターコロナ」ではないでしょうか。

CBD は麻薬植物として撲滅運動が繰り返されてきた大麻草の成分の一つ、カンナビジオールのことです。WHO が 2017 年に CBD には依存性がなく、てんかんやその他の健康状態に対する効果を示唆した報告書を公表して以来、欧米を中心にサプリメントの新たな素材として CBD に対する期待が過熱しており、日本でも既にその兆候が見られます。しかし、WHO の報告書には「純粋な CBD と考えられる製剤」と示されているものの、その原材料や製品についてはまだ国際的な統一基準がありません。また、大麻草に含まれる麻薬指定成分である THC (テトラヒドロカンナビノール) やその他のカンナビノイドに対するわが国の規制についても正しく理解する必要があります。厚生労働省は今年 6 月、「大麻等の薬物対策のあり方検討会とりまとめ」において、大麻取締法においては THC に着目した規制へと見直すことが適当であるとしましたが、今後、食薬区分における CBD の取り扱い等も大変気になるところです。

さて、世界を揺るがせているコロナ禍もまだまだ予断を許しませんが、少しずつ落ち着きを取り戻しつつあります。健康食品市場ではこの間も機能性表示食品が牽引し、特に免疫力への関心が高まりました。しかし、市場動向はそれだけだったでしょうか。コロナ禍の中で人々の志向はどう変わり、そしてアフターコロナにおいて求められるものは何なのか、それをどのようにしてキャッチできるかが、企業にとっては重要な鍵となるでしょう。

本セミナーでは、今まさに注目の CBD の動向とアフターコロナの観点から、健康食品についてご講演いただきます。矢野経済研究所の飯塚智之氏には、客観的な市場データや消費者調査に基づき健康食品市場の今後の展望についてお話しいたします。また、厚生労働省の三宅晴子氏には、厚生労働省の CBD に関する対応等を中心にお話しいたします。

いずれのご講演も今後の健康食品を考える上で重要なテーマです。皆様のご参加をお待ちしております。

開催要項

開催日時: 令和 3 年 12 月 2 日 (木) 14:00～16:20

形式: オンライン (Zoom ウェビナー)

受講対象: 社福協・健康食品研究啓発事業会員限定

※ 非会員の方は、「社福協・健康食品フォーラム」のサイトから、まずはご入会の上
お手続きをお願いいたします。

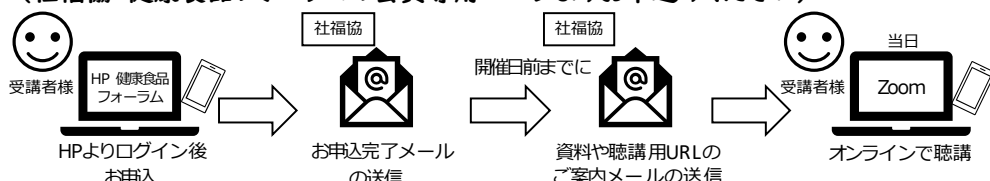
定員: 150 名 (先着順) ※ 申込受付は 11 月 22 日 (月) まで

受講費用: 無 料

※ 本健康食品会員オンラインセミナーについては、NR・SA の単位認定は行っておりません。

お申込URL <https://www.kenshoku-forum.jp/forumSeminar/forumDetail/38>
(社福協 健康食品フォーラムの会員専用ページよりお申込みください)

お申込から 受講まで



「お申込み」はこちら!



※ @shafuku.jp と @kenshoku-forum.jp からのメールを受信できるように設定をお願いいたします。

プログラム

ファシリテーター 池田 秀子 氏 (一般社団法人日本健康食品規格協会 理事長)

※ 諸事情により講師、テーマ等は変更される場合がありますのであらかじめご了承ください

時 間	内 容 ・ 講 師
14:00 ～ 14:10	開 会 挨 拶
14:10 ～ 15:00	① アフターコロナの健康食品市場とは ～健康食品市場の現状と今後の展望～ 〔講 師: 飯塚 智之 氏〕 (株式会社 矢野経済研究所 フードサイエンスユニット 主席研究員)
15:00 ～ 15:10	質 疑 応 答
15:10 ～ 15:20	休 憩
15:20 ～ 16:10	② CBDに関する動きについて 〔講 師: 三宅 晴子 氏〕 (厚生労働省 医薬・生活衛生局 監視指導・麻薬対策課 危害情報管理専門官)
16:10 ～ 16:20	質 疑 応 答
16:20	閉 会 挨 拶

お問合せ

一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 健康食品フォーラム事務局

TEL: 03-3595-1555 / FAX: 03-3595-1559 / E-mail: kenshoku@shafuku.jp

ご入会手続きはこちらから URL: <https://www.kenshoku-forum.jp/>

「ご入会」はこちら!

